

《ふりかえり もんだい③》

つぎの文の□にあてはまるうごきことばを、
アからオからえらぼう。

① ぞうきんで、ゆかを

② ろうかで、ハンカチを

③ カエルが、すいすい

④ ふねで海を

⑤ 車がどうろを

アはしる イおとす

ウおよぐ

エふく オわたる

つぎの文の―のことばは、この文の中ではまちがったことばづかいをしています。文のないようにあうように□の中に書きなそう。

【れい】シチューがおいしくできた。

おいしく

① あまくチョコレートを食べた。

② へやがあかるいになった。

③ かみを切ってかわいくなった。

④ ほめられて、うれしく気持ちになった。

つぎの文の□にあてはまるようすことばを、
アからオからえらぼう。

① 赤^{あか}ちゃんが□ねむっている。

② くもが□うかんでいる。

③ かぜがなおって□している。

④ 雪^{ゆき}の上^{うへ}を□すべる。

⑤ ボールが□ころがっていく。

アーころころ イーすやすや ウー^{うー}ぷかぷか

エーぴんぴん オーすいすい

つぎのことばを【おわったことがわかる】ように、
□の中^{なか}に書^かきなおそう。

【れい】はしる↓

はしった

① たべる ↓

② はいる ↓

③ のむ ↓

④ おどろく ↓

⑤ つく ↓

⑥ まわす ↓

つぎの文の□にあてはまるようすことばを、
アからオからえらぼう。

① ころんで、ひざを

② えんぴつで、につきを

③ ハじに家を

④ ようやくお店に

⑤ ボールをとくまで

つぎの文の―のことばは、この文の中ではまちがったことばづかいをしています。文のないようにあうように□の中に書きなそう。

【れい】ひこうきが、ちかいにせまってきた。

ちかく

① とおいの方から、声が聞こえてきた。

② シャベルで穴をふかいほる。

③ だれよりも、はやいもんだいをといた。

④ りんごの絵をあかいぬった。

つぎの文の□にあてはまるようすことばを、
アからオからえらぼう。

① 友だちと□ないしよ話をする。

② 車内は□だった。

③ 熱があつて□する。

④ 星が□かがやいている。

⑤ 風車が□まわっている。

アーひそひそ イーがらがら ウーふうふう

エーくるくる オーきらきら

つぎのことばを【おわったことがわかる】ように、
□の中に書きなおそう。

【れい】あるく↓

① およぐ↓

② つつむ↓

③ はなす↓

④ すわる↓

⑤ くつつける↓

⑥ つかむ↓

つぎの文^{ぶん}し^しょうをよんで^よん^んで^でといに^{こた}答えよう。

シャボンだま

① シャボンだま^{とんだ}

やねまで^{とんだ}
やねまで^{とんだ}
こわれて^{きえた}

② シャボンだま^{きえた}

とばずに^{きえた}
うまれて^{すぐに}
こわれて^{きえた}

③ 風^{かぜ}、風^{かぜ}、ふく^な シャボンだま^{とばそ}



(1) —せん① 「シャボンだま^{とんだ}」と、ありま
すが、どこまで^{とんだ}ので^しょう。□に入る^{はい}こと
ばを^かかんがえて^書こう。

まで^{とんだ}

(2) —せん② 「シャボンだま^{きえた}」と、ありま
すが、このシャボンだまは、どんなふう^にきえてしま
いましたか。□に入る^{はい}ことばを^かかんがえて^書こう。

きえた

(3) —せん③ 「風^{かぜ}、風^{かぜ}、ふく^な」と、ありますが、
なぜ、こんなことを^い言^いっているのだ^{おも}と思^{おも}いますか。
あなたのかんがえを□に^か書^かこう。

つぎの文^{ぶん}しようにをよんでといに答^{こた}えよう。

まじよは、とうとう坂^{さか}をのぼりきりました。

フーッと、大^{おお}きないきをはいてから、ゆっくり後^{うし}ろをふりかえりました。

すると、^①「おばちゃん、だいじょうぶ？」と、

ほほをまっ赤^かにした男^{おとこ}の子^こが、まじよの顔^{かお}をのぞきこんで言^いいました。まじよは、そんなふう

だれかに聞^きかれたことがなかったので、どぎまぎしました。「ぜーんぜん、へっちゃらさ。」と、

^②つよがりを言^いいました。本^{ほん}当^{とう}はクタクタだったのです。まじよは、^③クスノキの下^{した}にペタリとすわりこんで、しばらく休^{やす}むことにしました。

(1)ーせん①「おばちゃん、だいじょうぶ？」

だれが、だれに言^いっているのですか。□に入^{はい}ることばをかんがえて書^かこう。

が

に言^いっている

(2)ーせん②「つよがりを言^いいました」とありますが、どんなつよがりを言^いいましたか。まじよが言^いったことばを書^かこう。

(3)ーせん③「クスノキの下^{した}にペタリとすわりこんだ」とありますが、まじよは、なぜそんなことをしたのですか。□に入^{はい}ることばをかんがえて書^かこう。

だったから

(4)クタクタをつかって、みじかい文^{ぶん}をつくろう。

つぎの文^{ぶん}し^しょう^{しょう}をよ^よん^んで^でと^とい^いに^に答^{こた}え^えよう^{よう}。

学^が校^{っこう}か^から^らい^いそ^そい^いで^で帰^{かえ}る^ると、き^きつ^つと^とお^おば^ばあ^あち^ちゃ^ゃん^ん

か^から^らに^にも^もつ^つが^がと^とど^どい^いて^てい^いる^るは^はず^ずで^です^す。だ^だっ^って、

今^き日^{じつ}は^は私^{わたし}の^のた^たん^んじ^じょう^{しょう}日^び。①お^おば^ばあ^あち^ちゃ^ゃん^んが、ま^まい

年^{とし}お^おく^くつ^つて^てく^くれ^れる^る手^て紙^{がみ}と、プ^{たの}レ^のゼ^のン^のト^のを^を楽^{たの}し^しみ^みに

し^して^てい^いま^ます^す。げ^げん^んか^かん^んの^のド^どア^あを^を開^あけ^ける^ると、

「ま^まな^なち^ちゃ^ゃん^ん、お^おか^かえ^えり^りな^なさ^さい^い、お^おば^ばあ^あち^ちゃ^ゃん^んか

ら^らプ^{たの}レ^のゼ^のン^のト^のが^がと^とど^どい^いて^てい^いる^るわ^わよ^よ。」と^とお^お母^{かあ}さん^{さん}

が^が言^いい^いま^まし^した^た。「わ^わあ^あい^い、何^{なん}だ^だら^らう^う。」

は^はこ^こを^を開^あけ^けて^てみ^みる^ると、中^{なか}に^には^はか^かわ^わい^いク^くマ^まの^のぬ^ぬい

ぐ^ぐる^るみ^みが^が入^{はい}っ^って^てい^いま^まし^した^た。

(1)ー^ーせん①「お^おば^ばあ^あち^ちゃ^ゃん^んが、ま^まい^い年^{とし}お^おく^くつ^つ
て^てく^くれ^れる^る」の^のは^は、何^{なに}と^と何^{なに}で^です^すか。□に^に入^{はい}る^るこ^こと^とば^ば
を^をか^かん^んが^がえ^えて^て書^かこう^{こう}。

と

(2)文^{ぶん}の□に^には^は、ど^どん^んな^なこ^こと^とば^ばが^が入^{はい}り^りま^ます^すか。ア^アか^か
ら^らエ^エか^から^らえ^えら^らば^ばう^う。

ア お^おこ^こり^りな^なが^がら イ う^うれ^れし^しそ^そう^うに
ウ さ^さみ^みし^しそ^そう^うに エ び^びっ^っく^くり^りし^しな^なが^がら

(3)な^なぜ^ぜ、今^き日^{じつ}、ま^まな^なさ^さん^んは^はプ^{たの}レ^のゼ^のン^のト^のを^をも^もら^らえ^える^るの^の
で^です^すか。□に^に入^{はい}る^るこ^こと^とば^ばを^をか^かん^んが^がえ^えて^て書^かこう^{こう}。

今^き日^{じつ}は^は

(4)お^おば^ばあ^あち^ちゃ^ゃん^んの^の手^て紙^{がみ}に^には^は、ど^どん^んな^なこ^こと^とが^が書^かい^いて^て
あ^あっ^った^たと^と思^{おも}い^いま^ます^すか。よ^よそ^そう^うし^して^て書^かい^いて^てみ^みよう^{よう}。

つぎの 文しようによんでといに答えよう。

ぼくはお昼ごはんを食ると、すぐにぶうこのところに走って行ってみた。「うわーい、パパ、ママ。ぶうこがまたこつこをうんでるよ。」

すると、お父さんとお母さんが、とびだしてきた。ぶうこは、また、つぎつぎと子ぶたをうみつづけて、とうとうあと五ひきもうんだのだった。お父さんが、^①うれしいひめいをあげた。「うわー、十三びきもだ。」ぼくは、お母さんにぶたごやのさくの中に入れてもらって、「ひとつ、ふたつ、みつつ、よつつ。」と、ぶうこのおっぱいをかぞえはじめた。十二しかなかった。^②「十二しかないわ。だいじょうぶかしら。」お母さんが言った。

「ぶたのこぶた十三びき」友田多喜雄

(一) ぶうことは、何の名まえですか。□の中に書こう。

(2) こつことは、何のことですか。□の中に書こう。

(3) —せん①「うれしいひめいをあげた」とありますが、だれが、どんなことを言ったのですか。□の中に入ることを書こう。

が

と言った。

(4) —せん②「だいじょうぶかしら」とありますが、お母さんは、何のことをしんぱいしているのですか。□の中に入ることを書こう。

うまれたのに

こぶたは

ぶうこのおっぱいは